

# 千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町1-1  
公益社団法人千葉県園芸協会  
連絡先 043(223)3005  
発行日 毎月1日  
令和7年1月号



## 令和7年の新春を迎えて

公益社団法人千葉県園芸協会  
理事長 江波戸 一治

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、晴れやかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、会員の皆様には、日頃、当協会の業務運営に格別な御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ると、本県においては大きな気象災害こそありませんでしたが、夏場の猛暑、酷暑により夏秋及び秋冬野菜で出荷量が減少するなど影響がありました。

また、米については、夏場に需給が逼迫し、一時期スーパーの店頭から米が消え、「令和の米騒動」と呼ばれる事態となり、新米相場も近年にない好価格での取引となりました。稲作農家にとっては、生産コストの大幅アップにもかかわらず、価格転嫁ができない厳しい状況が続いておりましたが、ホッと一息つける年になりました。

昨年改正された「食料・農業・農村基本法」においても、デフレ経済下で低価格が定着し、国内外における資材費、人件費等の恒常的なコスト増を賄うことが困難になっている状況を受け、食料の価格形成において、食料システムの関係者（農業者、食品事業者、消費者等）により、食料の持続的な供給に要する合理的な費用が考慮されるようにしなければならぬ、と規定されました。今後国では、関係者の協議によるコスト指標づくりを推進しつつ、今年中の国会提出を視野に、持続的な食料供給に必要な合理的なコストを考慮する仕組みを新たに法制化することであり、期待感をもって注目していきたいと思っております。

さて、新たな年を迎え、当協会においては、本県農業の持続的な発展を支えるため、本年も生産振興対策事業、野菜価格補償事業、農地中間管理事業の3つの公益事業や、園芸部門の生産者の組織活動を支援する共益事業に、引き続き職員一丸となって取り組んでまいります。

生産振興対策事業については、さつまいも、ねぎ、トマト、にんじんの強化4品目を中心に、JAグループ、県、当協会が緊密に連携し、「チーム千葉」で生産力と販売力を強化する取組を推進してまいります。

また、県育成品種等の優良種苗の生産や、新規就農者の育成及び定着、6次産業化に取り組む生産者への支援等も行い、担い手の育成と生産者の所得向上の一助を担ってまいります。

さらに、「野菜連」「果樹連」「花き連」「植木連」「いちご連」の事務局として、生産者が取り組む生産から販売までの自主的な組織活動を支援し、園芸振興を図ってまいります。

農地中間管理事業については、市町村で策定が進む「地域計画」に基づき、市町村や農業委員会等の関係機関と協力し、担い手への農地の集積・集約化を進めてまいります。

関係者の皆様には、当協会のこうした取組に対し、本年もより一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

令和7年が生産者や農業関係者にとって素晴らしい年となり、本県農業が躍進することを祈念し、年頭の御挨拶とさせていただきます。



## 梨のスマート農業技術の検討について

千葉県農林水産部生産振興課  
園芸振興室 副主査 松永 大樹

千葉県では、令和6年度に「次世代につなぐ梨産地育成事業」を創設し、梨栽培における労働生産性や技術継承等の課題について、スマート農業技術による解決を図るため、「千葉県梨AI推進プラットフォーム」を設置し検討を行うとともに、スマートグラスを用いた遠隔指導システムの実証に取り組んでいます。

### 1. 背景・ねらい

千葉県の梨は、日本一の産地として生産量・産出額・栽培面積いずれも全国1位を誇っていますが、近年では生産者の高齢化や担い手不足等による生産量の減少が急速に進んでいます。

日本一の産地を維持していくためには、経営規模の拡大や新たな担い手の確保が必要ですが、梨栽培はせん定、収穫作業など熟練技術や知識を要するほか、機械化が困難な作業が多く、短期間に労働が集中すること等が大きな課題となっています。

そこで、様々な分野の専門家や生産者、農業法人、学識経験者等で構成するプラットフォームの設置やスマートグラスの現地実証等によるAI・ICTの活用について検討を始めました。

### 2. 千葉県梨AI推進プラットフォームの活動について

プラットフォームでは、国内の果樹生産において既に実用化又は研究開発が進められているAI・ICT技術について共有し、梨栽培における規模拡大の制限要因及びAI・ICT技術の活用方向性について整理し、会議の検討結果から、実証に取り組むべきAI・ICT技術を選定し、各技術の活用方法や実証内容について議論を深めています。

会議では、構成員である輝翠TECH株式会社（所在地：柏市）が開発する自動追従型ロボット台車「Adam」とスマートグラスについて、実演も交えながら活用方法や改善すべき点等について検討しました。



第3回会議の様子（ロボット台車の検討）

これまでの検討の結果から、AI・ICT技術について、①作業そのものを機械に置き換えて省力化する技術と②人の判断をサポートする技術に大別して検討を進めることが示されました。また、それぞれの開発スピードも踏まえ、早期に実用化が可能な技術や、長期的に取り組む技術について整理し、優先順位を定めて取り組んでいくこととしました。

### 3. スマートグラス遠隔指導システムの実証について

梨栽培に携わる多様な人材育成に必要な指導者が限られてくるため、スマートグラスを活用した遠隔指導システムが新規参入者や雇用労力等への効率的な技術伝承に活用できるかどうか、現地実証に取り組んでいます。

これまでに、収穫・選果作業と剪定作業のそれぞれで現地実証を行っているほか、AI学習モデルによる作業補助や指導者目線での動画作成等の活用方法も検討していきます。



スマートグラスを用いて指導者の指示に従い剪定作業を行う作業者



スマートグラスの映像を見ながら遠隔指導を行う指導者

### 4. 今後の活動について

今後は、早期に実用化が可能な技術について現地実証を進めるとともに、将来の活用が期待できる技術についても検討を進めていきたいと考えています。

また、令和7年2月には、梨栽培におけるAI・ICT技術をテーマとしたシンポジウムを開催する予定です。「スマート農業」に興味のある方は奮って御参加ください。

【詳細は各組合を通じて通知するほか、県庁HP等でお知らせします】



## ナシ開花予測の精度向上とりん片脱落期の予測

千葉県農林総合研究センター  
果樹研究室 研究員 金子 夏樹

従来のナシ開花予測システムについて直近の気象データを反映させた結果、「幸水」開花始の予測精度が向上し、新たに4地点（柏市、香取市、いすみ市、一宮町）で予測可能になりました。また、黒星病防除適期の目安となるりん片脱落期の予測もできるようになりました。

### 1. はじめに

ナシ栽培において花粉採取や受粉は、春先の短期間に行う必要があることから、計画的な作業が求められます。当センターでは過去の気象データから開花期を予測するシステムを2013年に開発しましたが、近年の温暖化の影響が反映されていませんでした。そこで、直近の開花期のデータをシステムに反映させて精度の向上を図るとともに、春の黒星病防除適期の目安となるりん片脱落期の予測を試みたので紹介します。

### 2. 「幸水」開花始の予測精度の向上

従来の千葉市、市川市、木更津市、市原市、印西市5地点に、柏市、香取市、いすみ市、一宮町の4地点を加えた県内9地点の「幸水」開花始について、直近（2021年又は2022年）までのアメダス気象データから新たに算出した「幸水」開花始の予測日と実測日の回帰分析を行いました。その結果、誤差は2～3日程度であり、予測精度は従来の予測式と比較して同程度か高くなりました。また、これまで開花予測を行っていなかった柏市、香取市、いすみ市は、それぞれ船橋市、佐倉市、茂原市のアメダス地点の気温データを用いることで、誤差3日以内で開花始の予測が可能になりました。さらに、一宮町については、予測に用いる気温データをアメダス勝浦から茂原に変更した結果、予測精度が向上し、実用できるようになりました。

### 3. 「幸水」りん片脱落期の予測精度の検証

当センターの「幸水」について、1980～2021年のアメダス気象データを用いて、自発休眠覚醒からりん片脱落期（樹の40～50%のりん片が完全に脱落した日）までの発育指数を算出し、開花予測と同様に予測日と実測日の回帰分析を行いました。その結果、誤差は2.4日と小さく、「幸水」のりん片脱落期の予測が可能であることがわかりました（図1）。

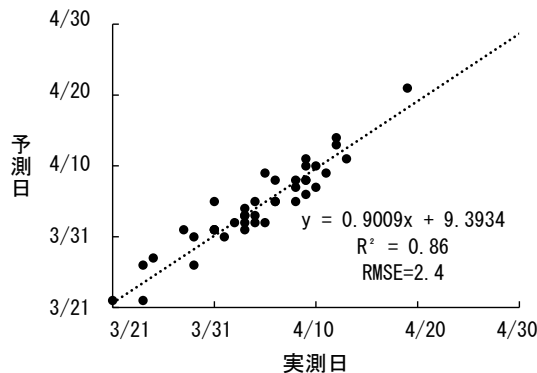


図1 「幸水」りん片脱落期の予測精度

注) 1980～2021年の佐倉市アメダスデータで予測

### 4. ナシ開花予測システム（ウェブ運用試験版）について

本年度より誰でも無料でアクセスできるナシ開花予測システムウェブ運用試験版を開発し、県庁ホームページで公開しています。ウェブ運用試験版では、2週間気温予報を用いた最新の開花予測結果を表示します（図2）。今後は、今回新たに開花始の予測が可能になった4地点や、当センターにおけるりん片脱落期の予測結果も併せて表示できるよう、改良を進める予定です。

17:07 4G			
MENU ナシ開花予測システム (試験版)			
アンケートにご協力ください			
予測結果は2/7までの気象データと最新の2週間気温予報値から自動計算しています			
幸水の予測結果		豊水の予測結果	
幸水の予測結果		【豊水へ】	
千葉県	幸水		
自発休眠	開花	開花	開花
終了日	始め	盛り	終り
2/19	4/12	4/16	4/21
市川市	幸水		
自発休眠	開花	開花	開花
終了日	始め	盛り	終り
3/2	4/16	4/19	4/23



図2 ナシ開花予測システム（ウェブ運用試験版）の表示画面（左）とQRコード（右）



## 新規いちご生産者が集う新たな活動について

公益社団法人千葉県園芸協会  
産地振興部 主事 石井 陸登

千葉県では近年、観光や直売を中心としたいちごの新規参入者が増えてきていますが、地域の生産者と交流が薄いため、千葉県いちご組合連合会（以下「いちご連」）への加入は少ない状況です。そこで、いちご連では、新規参入者といちご連会員との繋がりを作り、個々の経営発展といちご連の組織力強化に資するため、新たな活動を開始しました。

### 1. はじめに

千葉県のいちご生産は、観光・直売、市場出荷と様々な形態があるのが特徴で、令和4年産出額は87億円で全国第9位です。いちご連では、県内いちご生産者間の情報交換、生産技術研修会や販売促進活動を行い、いちごの振興を図っています。一方、近年は、県内各地でいちごの新規参入者が増えてきていますが、地域との繋がりが薄く、いちご連への加入は少ない状況です。

そこでいちご連では、新規参入者といちご連会員との繋がりを作り、経営発展の助けとなるような新たな取組を行いましたので御報告します。

### 2. 取組の内容

#### ○新規いちご生産者意見交換会

令和6年6月千葉市美術館ワークショップルームにて、新規いちご生産者を対象とした「新規いちご生産者意見交換会」を開催しました。この会は、先輩いちご生産者の経営事例発表、新規生産者の経営事例発表、農業資材メーカーの資材紹介、意見交換会の内容で開催され、県内全域から70名の参加がありました。

いちご連役員による先輩農業者の経営事例発表では、当時のいちご連会長近藤氏（観光いちご園）、副会長の見世川氏（市場出荷）から発表がありました。就農から現在に至るまでの経緯について細かく説明があり、これまでの経緯を踏まえて若手生産者が取り組んだ方がよいこと等についてアドバイスをいただきました。



先輩農家による講演

新規生産者の経営事例紹介では、伊豆丸氏（船橋市）、佐藤氏（鎌ヶ谷市）から、都市近郊のいちご園での開園準備から現在までの経営について発表があり、他の新規生産者にとって身近な内容について話を聞くことができました。

その後、経営事例発表と意見交換の間に、いちご関連資材会社から各社の資材についての紹介が行われました。

最後に、参加者が5つのグループに分かれ意見交換会を行いました。いちご生産を行う上での日々の悩みや問題点、今後の展望等をグループごとにディスカッションを行い、今後の経営を考える上で、意義のある会になりました。

また、意見交換会終了後は、場所を移し、盃を酌み交わしながら楽しい時を過ごし、交流を更に深めました。



意見交換の様子

### 3. 今後の取組について

今回の意見交換会で、今まで交流がなかった生産者同士がいちごという共通ワードで繋がり、良い刺激となりました。地域を超えて生産者同士が切磋琢磨し、個々の経営発展と本県いちご産地の強化に繋がることを期待します。

いちご連では、多くのいちご生産者が活動に関わることで組織力、発信力を強化し、引き続き千葉県のいちご産地の発展に取り組んでまいります。



## 花き連の販売促進活動（市場挨拶）について

公益社団法人千葉県園芸協会産地振興部

千葉県花き園芸組合連合会では、早春に千葉の花の最盛期を迎えるにあたり東京都市場・卸会社を訪問し、千葉県の課題などの聞き取りを行いました。

### 1. はじめに

千葉県の花き生産は、切花・鉢花・観葉と様々な品目を生産しているのが特徴で、令和4年産出額は198億円で全国第2位です。千葉県内の花き生産者で構成される千葉県花き園芸組合連合会（以下「花き連」）は、流通改善研修会、生産技術研修会、販売促進活動を主な事業に位置付け活動を行い、花き生産振興を図っています。

このたび、春に向け最盛期を迎える千葉県産花き出荷状況、品質、千葉県が取り組んでいくべき今後の課題をヒアリングするため、東京都の7市場・卸売会社を訪問しました。

### 2. 訪問市場

- ・株式会社大田花き・株式会社フラワーオークションジャパン・株式会社世田谷花き
- ・株式会社東京砦花き園芸市場・株式会社東日本板橋花き・株式会社第一花き
- ・東京フラワーポート株式会社



市場挨拶の様子

### 3. 今後の取組について

今回東京都市場・卸会社を訪問し、千葉県産花きの品質はこのまま維持しつつも、出荷情報提供速度の向上など課題がわかったため、より効率の良い流通を目指し、連合会としても取り組んでまいります。

### 催物案内



## 第73回関東東海花の展覧会の開催

関東東海花の展覧会は、千葉県を含む関東東海1都11県の生産者が育てた自慢の切花や鉢花など約1,800点が集まる、日本で最大規模の伝統ある花の展覧会です。千葉県からは、約200点が出品予定です。ぜひ御来場ください。

### 1. 主催

第73回関東東海花の展覧会

【構成団体：関東東海1都11県及び全国花き関連6団体】

### 2. 会期（一般公開・入場無料）

令和7年1月31日（金）～2月2日（日）

【公開時間】

1月31日（金）13:00～18:00（最終入場 17:30）

2月1日（土）10:00～18:00（最終入場 17:30）

2月2日（日）10:00～16:00（最終入場 15:30）※

※出品物即売会は最終日の13時～16時のみ

### 3. 会場

サンシャインシティ文化会館ビル

2階 展示ホールD

（東京都豊島区東池袋3-1-4）

### 4. 内容

花き品評会、フラワーデザインコンテスト、花の装飾展示、園芸教室（フラワーアレンジメント教室等）、出品物即売会 など



会場の様子（第72回）



2月2日の即売会の入場には整理券が必要となります。整理券は当日の午前9時から配布します。

問合せ

千葉県農林水産部 生産振興課 園芸振興室

電話 043-223-2871

催物案内



# 房総ジビエフェア2025を開催します！

千葉県では、野生鳥獣対策の一環として、県内で捕獲され、県内の食肉処理加工施設で適切に処理・加工されたイノシシやシカの肉を「房総ジビエ」と銘打ち、消費拡大を図っています。

この度、房総ジビエのおいしさを多くの皆様に味わっていただき、更なる房総ジビエの消費拡大を図るため、「房総ジビエフェア2025」を開催します。

フェア参加店舗では、今月14日に開催される「第7回房総ジビエコンテスト」で千葉県知事賞や千葉県農林水産部長賞を受賞した作品をはじめ、多彩な房総ジビエ料理や加工食品が提供・販売されます。

また、フェア期間中、参加店舗で房総ジビエの料理や商品を注文・購入した方の中から抽選で県産品等が当たるプレゼント企画を実施します。この機会に、ぜひ房総ジビエを御賞味ください。

参加店舗の詳細等については、下記のURL又は二次元コードから「房総ジビエ特設サイト」にアクセスして、御覧いただけます。

詳細については、「房総ジビエ」で検索！  
URL：<https://bosogibier.com>



### 【期 間】

令和7年1月20日(月)  
～令和7年2月28日(金)

### 【第6回房総ジビエコンテスト スペシャリテ部門 受賞作品】



千葉県知事賞  
フランス料理  
ラ ファレーズ  
(佐倉市)



千葉県農林水産部長賞  
酒亭穂椋  
(東京都港区)

### 問合せ

千葉県農林水産部農地・農村振興課  
電話043-223-2963

### 募集案内



# 令和7年度農業機械研修生募集

千葉県立農業大学校では、各種農業機械の安全な取扱いについて研修を行っています。また、大型特殊自動車免許（農耕車限定）やけん引自動車免許（農耕車限定）、農業機械士の資格が取得できる研修も行っています。いずれも、研修開催時期の約2か月前に研修の応募を受け付けています。詳しくは、「農業機械研修募集案内」または農業大学校HP（下記QRコード）で研修日程を確認の上お申し込みください。いずれの研修も年度後半になりますと応募者が多くなりますので、早い時期の応募をお願いします。

研修名	開催時期	研修の内容
農業機械体験研修	4、11月	農業機械操作の初心者向け研修
トラクター免許取得研修	5、6、9、12月	大型特殊自動車運転免許の取得
けん引免許取得研修	11、3月	けん引自動車運転免許の取得
農業機械士育成研修	6、10月	農業機械士の取得
農業後継者育成農業機械研修	7、1月	農業機械操作の初心者向け研修
農業用ドローン研修	12月	ドローンの初心者向け研修

申 込 先：千葉県立農業大学校機械化研修科  
(送 付 先) 〒266-0006 千葉市緑区大膳野町 1055  
電 話：043-291-1254 FAX：043-292-3859  
ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>  
メールアドレス：[kikaikenshu@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:kikaikenshu@mz.pref.chiba.lg.jp)



ホームページ